



## 特定非営利活動法人 たすけあい平田

(島根県出雲市)

「困った時はお互い様」「地域に住むもう一人の家族」の精神で、助け合い活動を軸に、お年寄りから子どもまで、みんなが安心して住める街づくりをめざして1992年に設立された。市民が対等な立場で家事や介護を助け合う中から、地域に不足するインフォーマルサービスを次々と創出し、地域福祉の充実に力を注いでいる。

### 助成テーマ

## 農園作業で居場所づくり

### [事業内容]

コロナ禍で一日中家に閉じこもり、意欲も体力も衰えていく人たちのためにできることを考え、感染リスクの少ない戸外の作業が可能な農作業を通じた居場所作りに取り組んだ。

### [事業の実績]

- 事業参加者数：12人
- スタッフ・ボランティアの数：7人
- プログラム実施回数：7回
- 作物の収穫：多数(じゃがいも、さつまいも、白菜、大根、青梗菜、ほうれん草等)



### [事業の成果]

- コロナ禍で閉じこもりがちになっている人たちが毎回楽しみに参加して、休憩時間には老いも若きも会話を楽しくして生き生きと活動していた。一つの活動の中で、いろいろな作業があるため、それぞれが役割をもって生き生きと取り組むことができた。
- 心を病んで行き場のなかった女性が、毎日畑に来るリーダーと連絡を取り合い、話し相手になってもらうことで信頼関係ができ、今では親元から独立して安定した生活を送るようになった。独立にあたっては当団体が部屋探しや引っ越しの手伝いなども行った。「今は幸せだ。ぐっすり眠ることができる。眠れなかったのが嘘のようだ」と大変喜ばれている。
- 農具や資材の運搬が思ったよりも大変だったが、助成により物置も整備することができたので、高齢者も楽に畑仕事ができるようになった。

### [今後の展望・課題]

- 参加者も徐々に増え、地元の高校からも高校生の地域活動として参加したいという打診がある。若い人の参加は嬉しい限りなので、応援団になってくれると良いなど期待している。
- 介護予防につながるグループの基礎ができた。これからも、この活動を継続していきたい。